

長崎人がそれぞれの“スキ”を発信!!

ながさき ラバーズ  
**長崎 尾戸っ子 LOVERS**

今月のLOVERS

田崎 和幸 さん



**Q1. なぜ長崎“尾戸っ子”ラバーズなんですか？**

昭和 45 年ごろ尾戸には保育園がなく、地域のかたから保育園を設置してほしいとの声が上がりました。琴海地区で父が保育園を経営していたこともあり、私に声が掛かってこの尾戸保育園ができたんです。

保育園ができてもうすぐ 50 年経ちますが、親子二代で通っているかたもいます。父親になった元尾戸っ子と開園当時の保育園の話をすることもあるんです。尾戸の子どもたちの成長を見守るのが私の天職です。

あなたもLOVERSになろう！詳しくは公式サイトをチェック



フェイスブック  
@nagasakilovers



インスタグラム  
@nagasakilovers



ホームページ  
長崎LOVERS

長崎には、夜景やおくんち、ちゃんぽん、カステラなど魅力がいっぱいです。そこで始まったプロジェクトが「長崎〇〇ラバーズ」。市民一人ひとりが自分の“スキ”を発信し、長崎を盛り上げていく取り組みです。今回は、琴海地区で園児 60 人の尾戸保育園を営む園長の田崎さんに長崎の“スキ”をインタビューしました。

**Q2. 「尾戸っ子」の魅力は？**

自然豊かな尾戸で育った子どもたちは、広い園庭で走ったり、山に登ったり毎日パワフル。今年の冬はインフルエンザにかかった園児はいなかったんですよ。季節の植物や昆虫にも出会えるこの場所は子どもたちにとって毎日が冒険でしょう。



おやつの中には、園内で育てたスモモを見て桃太郎が中に入っているかなと子どもながらの発想力で楽しませてくれます。琴海産の特産物も子どもたちの元気の原因です。

**Q3. 尾戸っ子に伝えたいことは？**

いくつになっても尾戸っ子のまま心も体も元気でいてほしいです。そして、いつでも立ち寄れる場所でありたいです。私たちの保育園は若手の保育士でも勤続年数は 17 年目。いつまでも変わらない顔ぶれで尾戸っ子の成長を見守っていきます。

働き盛りの長崎人をクローズアップ!!

はなめ びと  
**輝く働き人**

きよくえい  
旭栄産業 株式会社 佐藤 守 さん



昭和 48 年から旭化成建材の長崎県総代理店として建設業を営んでいる会社です。地震や火災に強い基礎や外壁の施工を通じて暮らしの安全を守ります。今回は入社3年目の佐藤さんを紹介します。

**Q1. この会社に就職した理由は？**

父が建設業だったこともあり、将来は建設に関係する仕事に就きたいと思っていました。自主性を高めるため、父と同じ職場ではなく違う会社を選びました。

**Q2. どのような仕事をしていますか？**

建築現場でALCという外壁材を鉄骨に取り付ける仕事をしています。作業の工程や安全管理、人員配置などを元請け事業者と打ち合せたうえで作業を進めていきます。3人1組で行う作業で、最初は先輩から教えてもらいながら仕事の流れを覚えていきます。

**Q3. 苦勞ややりがいはどこなところですか？**

建築現場の環境、条件は毎回違います。適切な対応を求められ、覚えることが多く大変ですが、完成した建物に自分が取り付けたものを見たときは達成感があります。携わったプロジェクトが構造物として形に残り、地図にも残るところが魅力的です。



ものづくりの楽しさと、まちの姿が変わっていくことを体感できる面白さがあります。

**Q4. どんな職場？**

和気あいあいとして活気があり、社員同士のチームワークは抜群です。私もみんなが誇りに思えるチームづくりを目指したいです。



**Q5. これから社会人になる人へのメッセージを！**

私が取り組んでいる仕事は、知れば知るほど奥深く、身に付けるべき知識や技術がたくさんあります。皆さんも一生をかけて極めたいと思える仕事や会社をぜひ見つけてください！

「長崎キラリ☆カンパニー」

長崎のキラリ輝く地元企業を、長崎ケーブルメディアの「なんでんカフェ」の放送でも紹介しています。

